

2011年12月改訂  
(記載要領変更に伴う改訂)

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。  
また必要な時に読めるよう大切に保存してください。

## ビタミン含有保健薬

第2類医薬品

# アリフロミンハイ2

ビタミンは私達の体内代謝機能を調節し、健康維持や発育、成長などに必要な栄養素です。

アリフロミンハイ2は、ビタミンB<sub>1</sub>誘導体（ベンフォチアミン）をはじめ、10種類のビタミンと日常不足しがちなカルシウムを配合した、ビタミン含有保健薬です。

アリフロミンハイ2は、虚弱体質、肉体疲労・小児の発育期・偏食児・病中病後・食欲不振などの場合の栄養補給に効果があります。



### 使用上の注意



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

(1)医師の治療を受けている人。

(2)妊娠3カ月以内の妊婦、妊娠していると思われる人又は妊娠を希望する人。

(妊娠3カ月前から妊娠3カ月までの間にビタミンAを1日10000国際単位以上摂取した妊婦から生まれた児に先天異常の割合が上昇したとの報告があります。)

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

下痢

4. 1カ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

#### 【効能・効果】

○成人（15歳以上）の場合

滋養強壮、虚弱体質、肉体疲労・病中病後・食欲不振・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

○6歳以上15歳未満の場合

滋養強壮、虚弱体質、偏食児・小児の発育期・病中病後・食欲不振・栄養障害・発熱性消耗性疾患などの場合の栄養補給

#### 【用法・用量】

次の量を、食後水又は白湯で、かまずに服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	2錠	1回
6歳以上15歳未満	1錠	1回
6歳未満	服用しないでください	

#### 〈用法・用量に関連する注意〉

(1)用法・用量を守ってください。

(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

裏面もよくお読みください。

## 【成分・分量】

1日量（2錠）中

ニコチン酸アミド	50mg
パントテン酸カルシウム タイプS	46.2mg
〔パントテン酸カルシウム〕	30mg
ベンフォチアミン（ビタミンB <sub>1</sub> ）	10mg
リボフラビン（ビタミンB <sub>2</sub> ）	7mg
ピリドキシン塩酸塩（ビタミンB <sub>6</sub> ）	12mg
ナビトールA50%散「ニッシン」	20mg
〔酢酸d-α-トコフェロール（ビタミンE）〕	10mg
理研ドライAD-B100/10P-GP	20mg
〔レチノールパルミチン酸エステル（ビタミンA）〕	2000国際単位
〔エルゴカルシフェロール（ビタミンD <sub>2</sub> ）〕	200国際単位
直打用アスコルビン酸	103.1mg
〔アスコルビン酸（ビタミンC）〕	100mg
無水リン酸水素カルシウム	60mg
シアノコバラミン（ビタミンB <sub>12</sub> ）	20μg
沈降炭酸カルシウム	120mg

添加物として、乳酸Ca水和物、無水ケイ酸、トウモロコシ油、ビタミンE、ラウリン酸ソルビタン、ゼラチン、白糖、タルク、グリセリン脂肪酸エステル、トウモロコシデンプン、セルロース、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、D-マンニトール、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、アラビアゴム、酸化チタン、カルナウバロウを含有する。

## 〈成分に関する注意〉

本剤の服用により尿が黄色くなることがあります。これは本剤に含まれるビタミンB<sub>2</sub>によるもので心配ありません。

## 【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4)水分が錠剤につくと表面の糖衣が溶けますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手でふれないようにしてください。
- (5)使用期限の過ぎた製品は使用しないでください。



## ■お問い合わせ先

本品に関するお問い合わせは、お買い求め先、または下記にお願い申し上げます。

株式会社 廣貴堂 「お客様相談窓口」

電話番号：076-424-2259

受付時間：9時から17時まで（土・日・祝祭日を除く）

製造販売元



株式会社 廣 貴 堂

〒930-0055 富山市梅沢町2丁目9-1

副作用被害救済制度の問い合わせ先  
(独) 医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)